

# ラッピングバス スタート

金沢学院の

金沢市が北陸鉄道の路線バスで行うラッピングバスの社会実験に学校法人金沢学院も参加し、十月十四日から色鉛筆をデザインしたバスが平和町、金石、四十万線などで走行を開始しました。杜の都金沢をイメージした薄緑色のボディ



前部と左側のデザイン

## 平和町、四十万線など運行



後部と右側のデザイン

「に、教育理念「創造」の意欲をかきたてる象徴として身近な色鉛筆を配置し、未来へ躍進してほしいとの願いを込めました。走行試験は十社・団体の車両で二年間にわたって行われる予定です。

# 野球部7度目V



優勝が決まり部員に胴上げされる角尾監督。10月12日、加賀市中央公園野球場

## 神宮大会目指し愛知の代表決定戦へ

平成二十一年度の石川県教員採用候補者試験で、金沢学院大学の卒業生二人が中学高校の国語と小学校教員にそれぞれ合格しました。また、愛知県の教員に現役生が合格しました。石川の中学校国語には 峪光司さん(30)「文学部日本文学科卒、七尾高

校出身、小学校教員には 上出洋土さん(30)「同、小松明峰高校出身」が合格しました。峪さんは石川県内の県立高校、上出さんは同じく小中学校でそれぞれ臨任講師、非常勤講師を務めて、実務経験を積み重ねてきました。愛知県の教員採用試験

(中学校国語)に合格したのは文学部日本文学科四年に在籍している清野(せい)の 絢さん(22)「新潟県新発田南高校出身」です。清野さんは先生方に教えてもらったことや予想問題などをきちんと押さえたことが合格につながったと思う」と喜んでいきます。

# 卒業生2人が石川県教員合格

## 愛知にも現役で清野さん

北陸大学野球秋のリーグ戦は10月19日終了し、金沢学院大学は8勝2敗で7度目の優勝を果たしました。10月31日から名古屋・北陸代表決定戦に、2位の金沢星稜大学とともに出場し、明治神宮大会の出場権獲得を目指します。

おける子規派の形成過程」のテーマで自らも研究発表に臨み、正岡子規と密接な関係にあった直門の方々が、変化を受容する素地が醸成されていたと述べました。サテライトの町名が変更



研究発表する藏角教授

俳文学会の全国大会 金沢学院短期大学が主催する俳文学会第六十回全国大会が十月十一日から十三日まで、金沢市文化ホールなどを会場に開催されました。十一件の研究発表と総会、金沢市周辺の文学遺跡踏査などが行われました。大会実行委員長として開催に尽力した同短大の藏角利幸教授は「金沢に